

目 次

はじめに

第 I 部 大学での能動的シティズンシップ教育の方策の検討

第 1 章 能動的シティズンシップ教育の意義	3
第 1 節 シティズンシップ教育に関わるシティズンシップ概念の 変遷と能動的シティズンシップ	3
第 2 節 日本社会における能動的シティズンシップ教育の意義	7
(1) グローバル化と新自由主義の進展に関して	7
(2) 若者の社会・政治参加の低調さ	9
第 3 節 大学での能動的シティズンシップ教育における役割と課題	14
第 2 章 日本のシティズンシップ教育政策関連文書における 「クリック・レポート」の捉えられ方の変化	19
第 1 節 シティズンシップ教育政策の変化	19
第 2 節 イギリスのシティズンシップ教育と「クリック・レポート」	22
(1) イギリスのシティズンシップ教育をめぐる政策動向	22
(2) 「クリック・レポート」におけるシティズンシップ観と政治的要素	24
(3) 検討資料	26

第3節 政策関連文書におけるシティズンシップ教育の論じられ方	27
(1) 「シティズンシップ教育宣言」	27
(2) 「常時啓発事業のあり方等研究会最終報告書」	30
(3) 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の 学習指導要領等の改善及び必要な方策等について (「主権者教育」関連部分)」	32
(4) 「主権者教育の推進に関する有識者会議とりまとめ」	33
(5) 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説： 公民編(公共関連部分)」	34
(6) 「今後の主権者教育の推進に向けて(最終報告書)」	37
(7) まとめ	39
第4節 日本のシティズンシップ教育における政策的議論の特徴と 課題	42
第3章 日本の大学でのシティズンシップ教育に関する 実践研究の特徴と課題	46
—実践研究を中心としたスコーピング・レビューより—	
第1節 教育実践の整理	47
第2節 文献収集とマッピング	48
(1) 研究方法	48
(2) 文献検索方法	48
(3) 選定方法	49
(4) 内容分析と統合方法	50
第3節 文献から示唆された特徴	51
(1) 文献の概要	51
(2) 内容分析と統合	51
第4節 大学でのシティズンシップ教育の特徴の検討	61
第5節 大学でのシティズンシップ教育の課題の検討	64

第6節 今後の検討課題	65
-------------	----

第4章 若者の社会参加／政治参加へのセルフ・エフィカシーに関する国際比較研究

——社会参加意識と政治参加意識向上への示唆——

第1節 社会参加と政治参加	67
第2節 社会参加・政治参加へのセルフ・エフィカシーに影響を与える要因：先行研究の検討	70
(1) セルフ・エフィカシー概念	70
(2) 課題固有のセルフ・エフィカシーに関する研究からの示唆	71
(3) 一般性セルフ・エフィカシーに関する研究からの示唆	73
第3節 データセットと使用変数	74
第4節 各セルフ・エフィカシーに影響する要因	77
(1) 社会参加へのセルフ・エフィカシーの重回帰分析	77
(2) 政治参加へのセルフ・エフィカシーの重回帰分析	80
第5節 社会参加・政治参加意識を教育的に向上させるには	84
(1) 社会参加へのセルフ・エフィカシーと政治参加へのセルフ・エフィカシーの一体性	84
(2) 社会参加意識と政治参加意識を向上させる教育への示唆	85

第Ⅱ部 能動的シティズンシップ教育に関する実践上の要点

——エスノグラフィーから——

第5章 社会参加へのセルフ・エフィカシーを向上させる教育実践

第1節 実践検討の必要性	91
第2節 調査フィールドと調査手法	93
(1) 研究対象：政策科学特別実践演習（コミュニティ・デベロップ	

メント) ……	93
(2) 実習先概要と実習内容概要 ……	94
(3) 研究方法 ……	95
(4) 調査対象者 ……	96
(5) 倫理的配慮 ……	97
(6) 授業全体の流れと分析方法 ……	98
第3節 社会参加へのセルフ・エフィカシーを高める教育実践の 様相 ……	99
(1) 共感性を高めていく様相 ……	99
(2) ボランティア活動への満足感を得る様相 ……	109
(3) 社会参加へのセルフ・エフィカシーを高める教育実践のまとめ ……	121
第6章 政治参加へのセルフ・エフィカシーを高める教育実践 ……	123
第1節 社会構造への理解を促す様相 ……	123
(1) 実習前の社会課題の背景にある社会構造への理解を促す授業の 様相 ……	123
(2) 学習支援における社会課題をもたらす社会構造を理解すること の困難さ ……	125
第2節 参加する方法とその効果を学ぶ様相 ……	145
第3節 政治参加へのセルフ・エフィカシーを高める教育実践の まとめ ……	157
第4節 社会参加／政治参加へのセルフ・エフィカシーを向上さ せる教育実践への示唆 ……	159
(1) 社会参加へのセルフ・エフィカシーを向上させる教育モデルへ の示唆 ……	160
(2) 政治参加へのセルフ・エフィカシーを向上させる教育モデルへ の示唆 ……	160
(3) 同じフィールドを利用した教育の可能性 ……	162
(4) 得られた知見と課題 ……	163

第7章（補章） 少人数の対話式リフレクション	165
第1節 少人数の対話式リフレクションへの着目	165
第2節 リフレクションのポイント	166
第3節 リフレクション分析の方法	167
(1) 調査対象	167
(2) 分析枠組み	168
第4節 リフレクションの分析	169
(1) 9月のリフレクション	169
(2) 10月のリフレクション	175
(3) 11月のリフレクション	181
(4) 12月のリフレクション	185
第5節 対話式リフレクションに必要な要素と課題	187
終章 本研究のもたらす知見と課題	189
第1節 研究成果と意義	189
第2節 研究結果からの政策的な示唆	193
第3節 今後の課題	194
資料 調査協力依頼書・同意書	197
引用文献	201
初出一覧	209
あとがき	211
索引	215